

第五十九回 帝國議會

地租法案外六件委員會議錄(速記)第七回

		會 議	昭和六年二月六日(金曜日)午後一時四十七分開議
出席委員左ノ如シ		大藏參與官 勝 正憲君	大藏省主稅局長 青木 得三君
委員長 本田 恒之君		西脇 晉君	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
理事 永田 善三郎君		中村 繼男君	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
理事 高橋熊次郎君		清水 銀藏君	織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
理事 清水 長鄉君		菊池 良一君	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
辻本豊三郎君		松井文太郎君	法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
本多真喜雄君		戸部 良祐君	法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政
鎌木 忠正君		前田房之助君	府提出)
一柳仲次郎君		竹田 儀一君	明治四十一年法律第三十七號中改正
東鄉 實君		武田徳三郎君	法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政
土井 権大君		岡田 忠彦君	府提出)
松谷興二郎君			大正十五年法律第二十四號中改正法
同日東郷實君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ清水銀藏君理事ニ當選セリ	出席政府委員左ノ如シ	○本田委員長 是ヨリ地租法外六件ノトガアリマス、理事東郷實君ガ昨日辭任ニナリマシタカラ、其補闕選舉ヲ行ハナケレバナリマセヌ、先例ニ依リマシテ委員長ノ指名デ御異存アリマセシタヤウニ、昭和四年度及ビ五年度ノ兩年度ニ瓦リマシテ豫算約百萬圓、尤モ整理ノ爲メ後ニハ減額致サレマシク	律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)都市計畫法中改正法律案(政府提出)明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)税ニ關スル件(政府提出)都市計畫法中改正法律案(政府提出)
内務省地方局長 大藏政務次官 小川郷太郎君	〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕	○青木政府委員 無届異動地ノ整理ニ付キマシテハ、只今御質問ニゴザイマシテ委員長ノ指名デ御異存アリマセシタヤウニ、昭和四年度及ビ五年度ノ兩年度ニ瓦リマシテ豫算約百萬圓、尤モ整理ノ爲メ後ニハ減額致サレマシク	ガ、最初約百萬圓ノ計畫ヲ以テ、日本全國ニ瓦リマシテ、地目ガ異動シテ居テ居リマシタガ爲ニ、多年脫稅ヲシテ居ツタ向ガ澤山アルノデアリマス、此事柄ハ常ニ議會ノ問題トナツテ居ツタノデアリマスルガ、政府ハ兩三年前カラ是等ノ土地ヲ調査サレマシテ、其結果無届異動地整理ニ依ル地租ノ増額トシテ百六十六萬一千餘圓ヲ計上サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ恐クハ調查費ノ關係上、又事務的ノ關係上、尙ホ全國一般ニ整理サレテ居ルモノト吾々ハ認ムルコトガ出來ナイノデアリマスハ認ムルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、ドノ程度マデ御調査ニナツタノデアリマスカ、先ヅ其點ヲ伺フテ見タイトトガ出来マセヌノデ、此計畫ヲ致シマ定員ヲ以テハ、十分ナル調査ヲスルコトガ出來マセヌノデ、此計畫ヲ致シマシテ、日本全國ニ瓦ツテ調査ヲ致シマシテ、無届異動地ヲ發見致シマシタ實數ハ、餘程最初ノ豫想ヨリモ多カッタノデアリマス、隨テ其發見致シマシタノ届異動地ニ對シテ、地主ニ異動ノ申告ヲ懲諭致シマシタガ、速ニ其懲諭ニ應ジテ申告ヲ出ス人モアリマスシ、又出サナイ人モアリマシテ、中々豫定ノヤグマシタ發見實數ガ豫想以上ニ多カッ

タト云フ關係ニ依リマシテ、此四年度、五年度ノ兩年度ニ於テ、豫定ノ通り此事業ヲ完成スルコトガ出來マセヌデシタ、ソレデ已ムヲ得ズ昭和六年度ノ豫算ニ於キマシテモ、尙ホ三十萬圓ノ豫算ヲ計上致シマシテ、此事業ヲ繼續シテ行ツテ行クト云フコトニシテ居リマス、其結果只今仰セニナリマシタ百六十萬一千圓ノ增收ヲ平年度ニ於テ擧ゲルト云フ計畫デアリマスガ、昭和七年度以降ニ於キマシテハ、マダ別段豫算トシテ確定シテ居ルモノハゴザイマセヌケレドモ、是ハ將來ニ於テモ尙ホ起り得ルコト、思ヒマスノデ、豫算ノ關係ニ於テハ、ハッキリシタコトヲ昭和七十年度以降ニ付テハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、日本全國ニ亘リマシテ、十分稅務署員ヲ督勵致シマシテ、將來斯様ナ無届異動地ノ非常ニ累積シテ起ルト云フコトノナイヤウニ、十分努力致シタ伊ト思ツテ居リマス

○前田(房)委員 只今ノ御答辯ニ依リマスト、政府ハ折角大ニ努力ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、色々ノ關係上マダ完全ニ整理ガ出來テ居ナイヤウデアリマス、此事柄ハ國民負擔ノ公平ヲ期スル上ニ於キマシテ、極メテ重要ナ問題デアルト思ヒマスカラ、願クバ政府ニ於キマシテハ、本年度ヨリ一層徹底的ニ整理ヲサレマシテ、サウシテ早

ルト云フコトガ、専用道路法ト云フヤウナ法案ヲ行ツテ行クト云フコトヲ伺ッテ居ルノ専用道路法ト云フコトヲ御伺致シマス、實ハ内務省ニ於キマシテ、ニ存ジマス、實ハ内務省ニ於キマシテ、ニ存ジマス、實ハ内務省ニ於キマシテ、ニ存ジマス、實ハ内務省ニ於キマシテ、モ、既ニ自動車ノ專用道路ト云フモノガ現存致シテ居リマスカラ、ドウカ此點ニ付キマシテハ、政府ハ深甚ノ御考慮ニ付キマシテ、其中ニ此地租ヲ免除スル御提出願ヒタイト思フノデアリマス、然ルニ此地租法ノ免租地ノ範圍ヲ今日ノ現狀通りニシテ置クカ、或リマスケレドモ、海軍所管ノ政府委員ガ見エテ居リマセヌカラ、他日ニ保留ニ付キマシテハ、從來ヨリ例ヘバ恩賜財團法人ノ濟生會ノ用地デアリマストカ、其他左様ナモノヲ新タニ加ヘテ貰ノ點ニ付キマシテ、一言御尋申上ゲタヒタイト云フ要求モゴザイマシテ、實ノ點ニ付キマシテ、新地租法ノ第一章ノ總則第二條デアリマスガ「左ニ掲タル土地ニハ地租ヲ課セズ但シ有料借地ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ」斯ウ云フコトデ、各項目ガ列舉サレテ居ルノデアリマス、其中ニ公衆用道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地、是等ガ皆免租地トキハ此ノ限ニ在ラズ」斯ウ云フコトニ付キマシテハ、マダ大藏省ニ於テハ、千圓以下ノ収益者ニ對シテハ百五十圓バカリヲ控除シテ課稅スルト云フヤウナ、御方針ノヤウデアッタノデアリマスガ、最後ノ決定ハ、千圓以下ノモノニ付テハ率ヲ下グテ二・二ト云フコトニナサレタ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ交通機關ノ整備ヲ圖リマスル必要上、今後段階自動車ノ專用道路ガ増加致スデアラウト思ヒマス、既ニ公衆用ノ道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地、是等ガ皆免租地トナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ交通機關ノ整備ヲ圖リマスル必要上、今後段階自動車ノ專用道路ガ増加致スデアラウト思ヒマス、既ニ公衆用ノ道路、鐵道用地、軌道用地、運河用地、是等ガ皆免租地トナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ交通機關ノ整備ヲ圖リマスル必要上カ

○前田(房)委員 政府ノ御考ハ諒承致マスト、政府ハ折角大ニ努力ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、色々ノ關係上マダ完全ニ整理ガ出來テ居ナイヤウデアリマス、此事柄ハ國民負擔ノ公平ヲ期スル上ニ於キマシテ、極メテ重要ナ問題デアルト思ヒマスカラ、此點ニ付テ政府ノ御意向ヲ伺ッテ見タイト

ルト思フノデアリマス、就キマシテハ自動車專用道路法ト云フヤウナ法案ヲ行ツテ行クト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ此點ニ付キマシテ、其中ニ此地租ヲ免除スルコトヲ御伺致シマシテ、而シテ次ニ控除ノ問題ヲ御捨テニナツテ、結果千圓以下ニハ二・二ノ稅率ヲ課稅スルコトガ、一番都合ガ好イト御認メニ

○小川政府委員 中村君ノ御質問ニ御答致シマス、營業収益稅ノ免稅點ヲ引上グルト云フコトヲ、何故ヤラナカツタカト云フ第一ノ質問ニ付テ先づ御答致シマス、中小商工業ノ負擔ヲ輕ウシタイト云フヤウナ考カラ出發致シマシテ、免稅點ヲ引上グルト云フコトモ、一つノ方法デアルト考ヘテ居リマス、併シ今回ノ減稅案ト云フモノハ、御承知ノ通リニ倫敦會議ノ結果、即チ海軍ノ軍備縮小ト云フモノカラ國民ノ負擔ヲ減ジヤウト云フノデアリマシテ、ソレハ國稅ニ限ラレルモノナルノデアリマス、所デ免稅點ヲ引上グルト云フコトニナリマスト、實際營業収益稅ノ委讓ニナリマス、國稅デハ免稅ニナリマスガ、地方稅トシテハヤハリ課ケルコトニナルノデアリマス、其國稅ヲ輕減スルト云フ趣旨ヲ達スルノニ、遺憾ノ點ガ生ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ免稅點引上ゲト云フクトヨリハ、外ノ方法ノ方ガ宜シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、然ラバドウシタラ宜イカト言ヒマスト、中小工業其他中以下ノ營業者ノ負擔ヲ輕題デアリマス、先づ千圓ノ所カラ下ノ方ヲ輕ウシヤウト云フノデアリマシテ、只今中村君ノ御話ノアリマシタヤ

ウニ、一定額ヲ控除シテ普通ノ税率ヲ
課ケテ行クト云フコトモ、一ツノ方法
ト考ヘタノデアリマス、所ガ其方法ハ一
種ノ階級ハ分ケマセヌケレドモ、ズット
税率ニ直シテ見マスト、頗ル緻密ナ階
級ニナツテ、何處マデモ收益ガ少クナル
ニ從ウテ低イ税率ヲ課ケルト同ジ結果
ニナルノデアリマス、隨テ國稅ノ免稅
點以下ノ收益ニ對シテハ地方稅ヲ課ケ
ルコトニナリマスカラ、其地方稅トノ
權衡モ色々考ヘテ見マスト、色々事實
上行詰マル點モアリマスノデ、同ジ趣
旨ヲ貫徹スル爲ニ、下ノ方ニ普通ノ稅
率ヨリハモット低イ稅率ヲ適用シタナ
ラバ、目的ヲ達スルコトガ出來ルト云
フノデ、千圓以下ノモノニ對シマシテ
低イ稅率ヲ課ケル、斯ウ云フ趣旨デア
ンダノガ、茲ニ出テ居リマス提案デア
リマス

○小川政府委員 中村君ノ只今ノ御話
ハ御尤デアリマス、一體地租ナリ、營業收
益稅ダケハ補完作用ヲ完全ニスルコト
ガ出來ナカツタ御認メニナツテオヤリ
ニナツタノデアルカ、其點ヲ一ツ御伺致
シタイ

ト云フコトハ、サウセナケレバ營業收
益稅ナリ、資本利子稅ナリ、所得稅
ヲ補完スル稅トシテハ、所謂收益稅
ト申シマスカ、サウ云フモノニ累進稅
ヲ適用スルト云フコトハ、根本理論ト
シテハ穩當デナイト思フノデアリマ
ス、ソレデアルカラ地租ニモ、資本利
子稅ニモ、サウ云フコトハアリマセヌ、
營業收益稅ニ下ノ階級ニ特ニ低イ稅率
ヲ適用シタト云ヒマスノモ、此收益稅
制度ニ所得稅ヲ補完スル稅ト云フモノ
ニ付テ、皆累進稅ヲ適用スル考デ進
ダモノデハアリマセヌ、若シ累進稅ヲ
適用スルトスレバ、アンナニツ位ナ階
級デハ勿論十分デアリマセヌ、御承知
ノ通リニ今日ノ中小工業ノ弱ツテ居ル
度合ト云フモノハ、ヒドイトモ言ヘル
ト思フ、稅ノ方カラ言ヘバ、負擔ノ力
ガ乏シイノデアリマス、世界ノ不景氣
ニ際シマシテ、殊ニ激シイモノガ隨分
アルノデアリマスカラ、ソレニ對シテ
ハ低負擔ヲ命ズルト云フコトガ穩當
デアルト考ヘタノデアリマス、尙ホ營

業税カラ營業収益税ニ移リ變ツテ行ク
時分ノコトヲ考ヘマシテモ、其移リ變
リノ時ニ營業税ヲ納メテ居リマス下ノ
階級ガ、俄ニ重クナツタト云フヤウナ感
ジヲ持ツテ居ツタト思フノデアリマス、
ソコデ其邊モ能ク斟酌ヲシテヤリマシ
テ、其方面ノ負擔ヲ輕クシテヤラウト
云フ考カラ、營業収益税ニ於キマンテ、
得普通ノ税率以外ニ千圓以下ニ低イ税率
ヲ適用シタ譯デアリマス、決シテ地租
ナリ、營業収益税ナリ、資本利子税ナ
リト云フモノニ、累進税ヲ適用スペキ
モノデアルト云フ、サウ云フ考ノ下ニ
シタ負擔ヲ命ジタイ、斯ウ云フ考カラ
減ジタニ過ギマセヌ、一體中村君ノ御
話ニナリマシタ、千圓以下カラ或額ヲ
控除スルト云フ控除査定法ニ依ツテ稅
率ヲ定メルノハ、或意味カラ言ヘバ累
進ノ考ガ其處ニアルノデアリマスガ、
是ハ各國ノ立法例ニ於キマシテモ、累
進税ヲ適用スルト云フコトデナク、唯
或事情ニ適應シテ其點ダケヲ特ニ輕ク
見テヤラウト云フノニ、其方法ヲ用ヒ
ラレタ立法例ガアルト思フノデアリマ
ス、ソレデアリマスカラ、茲ニ營業收
益税ニ一番下ノ階級ニ低イ税率ガ用ヒ
ラレテアルカラデアリマス、必ズシモ
累進税ヲ適用スルト云フ風ニマデ言ハ
ナクテモ宜シイト思フ、又其精神デ居

ルノデアリマス

○中村委員 御趣旨ハ能ク了解シマシタ、ソコデ尙ホ進ンデ御尋致シタイト思ヒマスノハ、地租ト營業収益税ノ負擔ノ關係ガ、ドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フコトニモナリマスガ、營業収益税ダケニ付テハ、千圓以下ノモノニ付テ免ニ角負擔ヲ輕減シテヤルト云フ意味デ、低イ税率ヲ適用ナサル、サウデアルナラバ、地租ニ付テモ同ジャウナ筆法ヲ以テ、例ヘバ地租ノ五百圓以下トカ、三百圓以下ト云フ苦シミノ狀態ハ、營業者ト餘リ變ラヌデアラウト思ハレル所ノ者ニ對シテ、一本デ行カヌデモ宜イデヤナイカ、殊ニ農業者ノ今日窮迫シテ居ルト云フヤウナ時代ニ於テハ、營業者同様ニドウシテ同ジ恩典ヲ與ヘナカッタカ、斯ウ云フ疑問ガ起リマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○小川政府委員 地租ト營業収益税ノ比較、對照、權衡ト云フヤウナコトハ、是ハ根本カラ一ツ御了解ヲ得ナケレバナラヌト思フノデアリマス、從來此委員會ニ於キマシテモ、其根本ノ性質論カラ出タ色々ノ御議論モアツタヤウニ思フノデアリマス、免稅點ノコトニ付キマシテモ、營業収益税ノ免稅點ト云フモノヲ以テ、地租ノ免稅點ト直グ之マス、地租ノ免稅點ト通俗ニ申シマス財產ヲ持ツテ居ル以上ハソレニ課ケテ

ケレドモ、免稅點ト云フノハ穩當デナイト思フ、唯自作農ニ免稅シテヤルト云フコトニ外ナラヌノデアリマス、苟モ地價二百圓ノモノハ、誰デモ免稅スルト云フノデハナイノデアリマス、營業収益税ノ免稅點ト云フノトハ、全然違ツテ居ルト思フノデアリマス、一體アノ建テ方ハ中村君モ御承知ノ通リニ、所得稅ダケデハ總テノ負擔力ニ應ジタル、其營業純益ハ財產ト云フモノト、課稅ガ出來難イト云フ所カラ、補完稅ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマシテ、日本ノ今日ノ稅制デハ、今御話ニナルヤウニ所得稅ヲ中心ニ置イテ、地租、營業収益稅、資本利子稅ト云フヤウナモノヲ以テ、之ヲ補完スルト云フコトニナツテ居リマス、其補完稅ノ根本ノ精神ハ、ヤハリ大體ニ資產ヲ持ツテ居ル者ニ、所得稅ノ外ニモウ一ツ掛ケル、斯ウ云フコノト建前デアルト思フ、唯勤勞所得ダケヲ得テ居ル者ハ、所得稅デ一遍課ケテ置イテ、財產ヲ持ツテ居ル者ハ、財產デ表示セラレテ居ル、財產デ表示セラレテ居ル者ハ、財產カラ生レテ出ル、所ノ收益ト云フモノニ課ケル、斯ウ云フモノガアル、其財產カラ生レテ出ル、所ノ收益ト云フモノニ課ケル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマスカラシテ、隨テソコデ免稅點ニ付テモ違ツタ考ガ起ルシテ、アナタノ御聽キニナツテ居ラッシャル、ソコデ免稅點ニ付テモ違ツタ考ガ起ル、公平デナカッタ云フ建前デアリマスガ、其邊ノ事情ヲ一ツ承リタイ

○小川政府委員 是ハ中村君御承知ノ通リニ、今ノ地租ハ地價ヲ標準ニシテ課稅シテ居ラッタノデアリマス、地價ハ明治ノ初年ニ出來タモノデアリマシテ、ソレカラ五十年程モ經ツテ居リマス、其

行ク、斯ウ云フ建前デアリマス、資本利子稅モ亦全ク其通リデアリマス、一體建前ハ營業収益稅ニ於キマシテハ、營業ニ投機テ居ル資本ダケヲ引ツコ拔キマシテ、ソレノ収益ダケヲ見ルト云フコトハ出来得ナイノデアリマスカラシテ、ソコデ營業純益ト云フモノヲ取ルコトニナルト云フコトヲ、一つ稅制ノ定メ方ノ來得ナノデアリマスカラシテ、他ノモル、其營業純益ハ財產ト云フモノト、課稅ガ出來難イト云フ所カラシテ、他ノモノトハ此點ニ於テ全ク同ジャウニナツテ居リマセヌ、ソレカラ大正十五年ノ稅制整理ノ折ニモ、其當時ノ濱口藏相ナツテ居リマス、其補完稅ノ根本ノ精神ハ、ヤハリ大體ニ資產ヲ持ツテ居ル者ニ、所得稅ノ外ニモウ一ツ掛ケル、斯ウ云フコノト建前デアルト思フ、唯勤勞所得ダケヲ得テ居ル者ハ、所得稅デ一遍課ケテ置イテ、財產ヲ持ツテ居ル者ハ、財產デ表示セラレテ居ル者ハ、財產カラ生レテ出ル、所ノ收益ト云フモノニ課ケル、斯ウ云フモノガアル、其財產カラ生レテ出ル、所ノ收益ト云フモノニ課ケル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマスカラシテ、隨テソコデ免稅點ニ付テモ違ツタ考ガ起ルシテ、アナタノ御聽キニナツテ居ラッシャル、ソコデ免稅點ニ付テモ違ツタ考ガ起ルシテ、アナタノ御聽キニナツテ居ラッシャル、ソコデ免稅點ニ付テモ違ツタ考ガ起ル、公平デナカッタ云フ建前デアリマスガ、其邊ノ事情ヲ一ツ承リタイ

○小川政府委員 是ハ中村君御承知ノ通リニ、今ノ地租ハ地價ヲ標準ニシテ課稅シテ居ラッタノデアリマス、地價ハ明治ノ初年ニ出來タモノデアリマシテ、ソレカラ五十年程モ經ツテ居リマス、其

當時ノ地價ト云フモノカラ見レバ、皆同ジヤウデ宜カッタラウトモ思ハレルノデアリマスガ、其後時代ノ變遷ニ依リマシテ、地價ソレ自體ガ實際ノ土地ノ價ト云フモノトモ隔ツテ來マスルシ、隨テ擔稅力ヲ現ハス標準トモナラナイコトニモナル、又其後宅地ハ御承知ノ通リニ、明治ノ末年ニナツテ桂公ノ手ニ於テ地價ノ修正ハ餘程進ンダノデ、其地價ノ修正ハ時勢ノ變化デ大變ガ、其地價ノ修正ハ餘程進ンダノデ、明治ノ初年ニ出來タモノト明治ノ末年ニ出來タモノトハ、時勢ノ變化デ大變違ツタノデアリマスカラ、同ジ稅率ヲ適用スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシテ、稅率ガ段々變ツテ來ルヤウナコトニナツテ來タノデアリマス、所ガ今回地租法ヲ制定スルニ當リマシテハ、御承知ノ通リニ、貨貸價格ヲ課稅標準ニスルト云フコトニナツテ、其貨貸價格ヲ、一時ニ同ジ時ニ調ベルコトニナルノデアリマスカラ、稅率ヲ變ヘル必要モ何モ無イ、同ジ課稅標準デ、而モ其課稅標準ガ擔稅力ヲ現ハシテ居ルト見ル以上ハ、事理ノ當然ノ結果ト致シマシテ、稅率ハ多ク一本ト云フコトニナリマス、隨テ其稅率ヲ適用スルニ當ツテ、從來ノモノヨリハ或ハ宅地ガ稅額ヲ増シ、或ハ田畠ガ其稅率ヲ減ズルト云フヤウナコトガ出來テ來マス、ソレハサウナルノハ今日ノ此課稅標準ガ

正シイノデアリマスカラシテ、今日ノト云フコトガアリマスレバ、其變リ目ガ公平ナノデアリマシテ、過去ノガ寧ロ不公平デアツタト云フコトニ畢竟歸スルノデアリマス、其不公平ヲ直ス爲ト云フコトニナツタ次第デアリマス
○中村委員 大體了解致シマシタガ、サウスルト此三分八厘一本ニスルト云フコトハ、却テ今マデノ不公平ヲ矯正スルコトニナツタノデアルト云フ御答此地租法ニ於テ制限ヲ御設ケニナツタデアリマスガ、サウデアルナラバ、今トニ外ナラヌノデアリマス、一種ノ便宜法ト御考ヲ戴キタイト思フノデアリマス
ト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、三倍八割ヲ超エルモノニ付テハ、モウ一つハ三倍八割ヲ超過セザルヤウニスル、十倍ニナリ、二十倍ニナルカモ知レヌガ、ソレヲ其儘放ツテ置クコトガ所謂本來ノ目的ニ副フ所以ニナルノデハナイカ、ソレヲ超過シタモノヲ取ラナイト

○中村委員 サウシマスト、三分八厘ニ止メルト云フコトガ便宜方法デアルトスレバ、將來ハ時々御直シニナリ、何年カノ後ニハ御直シニナツテ、實際ノ賃貸價格ニスル御方針デアルカ、ソレヲ承リタインカ、ソレヲ超過シタモノヲ取ラナイト云フコトハ、今マデ御説明ニナツタ所ト矛盾スル結果ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、其邊ハ如何デアリマスカラ、其貨貸價格ヲ定メルト云フノハ、十年毎ニ更新シテ行ク積リデアリマス、今マデノ地價ハ初メハ直ス積リデアツタノデアリマセウケレドモ、殆ド直スニ至ラナカッタ譯デアリマスガ、今度ハ法律ヲ以テ十年毎ニハ直スト云フ風ニシヤウト思ツテ居ル譯デアリマスガ、初メノ事ヲ承リタイ、モウ一つハ三倍八割ト云フ數ハ、何カ其處ニ意味ガアツタラウ果デアラウト思フノデアリマスガ、其事ヲ承リタイ、モウ一つハ三倍八割ト云フ數ハ、何カ其處ニ意味ガアツタラウカドウカ、無論意味ガアツタデアラウト思フノデアリマスガ、ソレヲ承リタイシ其通リニシマシテ非常ナ負擔ノ激變ト

○西脇委員 關聯シタコトデスガ、今度賃貸價格ノ制限ヲ三倍八割ニサレタノデアリマスガ、是ハ多ク宅地ノ方ニ適用サレルダラウト思フノデアリマス、左様デアルカドウカ、モウ一つハ四十三年ノ宅地ノ修正ノ場合ニハ、確カ市街宅地ハ十八倍デアリマシタガ、郡村宅地ハ七倍ニナルノデアリマスガ、今度ハ激増、激變ヲ避ケルト云フ意味デアラウト思フノデアリマスガ、其當時ト餘リチヨン切ル所ノ程度ガ低イヤウデアリマス、是ハ何カ深キ御考ノ結果デアラウト思フノデアリマスガ、其事ヲ承リタイ、モウ一つハ三倍八割ト云フ數ハ、何カ其處ニ意味ガアツタラウカドウカ、無論意味ガアツタデアラウト思フノデアリマスガ、ソレヲ承リタイシ前ノ宅地ノ修正ノ際ニ於キマシテ、市街宅地ニアツテハ十八倍、郡村宅地ニアツテハ七倍二割ト云フ制限ヲシタノ

ニ、此度ノ制度ハ三倍八割デ餘リニ少イデハナイカト云フ、斯ウ云フ御質問ガ第一點ト考ヘマシタ、所ガ此十八倍、或ハ七倍二割ト申シマスノハ、是ハ賃貸價格ニ對スル制限ヲ云フノデアリマス、只今提出致シテ居リマス法律案ニ於ケル三倍八割ト云フノハ、地價ノ制限デハゴザイマセヌノデ、地租ソレ自身ノ制限デゴザイマス、此前ノ十八倍或ハ七倍二割ト申シマスノハ、其當時ノ調査ガ賃貸價格ノ十倍ヲ以テ地價トスルト云フ案ニナツテ居リマシタノデ、ソコデ地價ニナルベキ賃貸價格ノ十倍ガ、市街宅地ニアツテハ現在地價ノ十八倍ヲ超エル時ニハ十八倍、郡村宅地ニアツテハ七倍二割ヲ超エル時ハ七倍二割ニ止メテ、ソレヲ以テ地價トスル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、負擔ノ關係ニ於テハ其時ノ改正ハ、地租ノ負擔ハ二倍二割五分ニ止メルト云フコトニナリ、其計算ハ非常ニ複雜デアリマシテ、此處ニ持ツテ居リマスケレドモ、混雜スルカラ申上ゲナイ方ガトカラウト思ヒマス、要スルニ地租ノ負擔ハ二倍二割五分ニ止メタト云フ結果ニナツテ居ルノデアリマス、尤モ此前二倍二割五分ニ止ス、マシタケレドモ、ソ

レハ政府ノ原案トハ或ハ多少違ツテ居タカモ知レマセヌガ、サウ云フコトニ結果ハナツテ居リマス

第二段ノ御質問ノ三倍八割ニ止メタノハドウ云フ譯デアルカト云フコトニウ云フコトニナルノデアリマスカラ、斯マシテハ、此前ノ時ハ二倍二割五分、トスルト云フ案ニナツテ居リマシタノデ、ソレヲ三分八厘デ割ルト云フコト

移リマスガ、其三倍八割ト云フ大變端數ヲ付ケマシタノハ、私共ノ考ト致シテ、ソレヲ三分八厘デ割ルト云フコトニナリマスカラ、結果ハ現在ノ地租ノ

度ハ三倍半カ四倍位ニ止メルノヲ以テ最モ適當ナ程度ト認メマシタ、尤モ其根據ハ何處ニアルカト仰セニナリマシテモ、別段算盤ヲ彈イテサウ出シタノデアリマセヌガ、達觀上、三倍半若クハ四倍ニ止メルノガ穩當ナ所デアラ

○一柳委員 簡單ニ御尋ヲ致シマスタガ、北海道ニハ特例ガ設ケラレテ居リマシテ、府縣トハ割合ガ低クアツタ、今度ノ改正案ニ依リマスルト、ソレガ北

海道ハ同一ノ率ニナツテ居ルヤウニ思クナラナイト云フコトガ、全般的ニ言ヘルト思フノデアリマス、又過去ノ例

ノ府縣ヨリ安イノデスカラ、其安イモ

モゴザイマシテ、三倍八割ト致シマシ

タガ、大體ハ其三倍半乃至四倍位ノ所

ヲ適當ナル制限ト心得マシタ

マシテ御答ヲ致シマスガ、此地租ヲ賃

料價格デ課ケルト云フコトニナツテ、其

調査ノ方法モ全國同ジヤウデアリマシ

テ、北海道モ他ノ府縣モ同ジコトデア

リマス、デ賃貸價格ヲ取ツテ行ッテ、ソ

レデ税率ヲ當嵌メルノデアリマスカラ

シテ、北海道ノ方ニ是カラ少シ都合ガ

悪イト云フコトニハナラナイノデアリマ

ス、北海道ノ方ノ賃貸價格ハ安イ、他

ニナリマスカラ、結果ハ現在ノ地租ノ

掛ケ、現在ノ税率三分八厘デ割ツタモ

タカモ知レマセヌガ、サウ云フコトニ

結果ハナツテ居リマス

三十六年カラ内地ト同ジャウニヤッテ居ル所ヲ見マシテ、北海道ヲ今日内地同ジヤウナ租率ヲ以テスルト云ッテモ少シモ不權衡ナコトハナイ、否其方ガ權衡ヲ得ルト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、北海道自體ノコトヲ考へマシテモ、ソレカラ沖繩縣ト對照シテ考へマシテモ、此際租率ヲ變ヘル必要ハナイト思フノデアリマス、サウシテ根本ノ理窟ハ一番最初ニ申シマシタ擔稅能力ヲ見ル爲ニ、貨貸價格ヲ以テシマシタカラ、其貨貸價格行ク以上ハ、茲ニ差別スル必要ハナイト云フコトニナルノデアリマス、唯是ガ爲ニ何ダカ北海道ガ歩ガ惡イト云フヤウナ感ジガアリハシナイカ、ソレハ私ハ全クノ誤解ダラウト思フノデアリマス、實際ニ今回ノ貨貸價格ヲ以テ、サウシテ此稅率デ致シマシテモ、北キマシテ、決シテ重クナッテ居リマセヌ、ズット輕クナッテ居ルダラウト思ヒマスガ、大體ノ立テ方ハサウ云フ風デゴザイマスカラ、ドウカ其稅率ノ差別ノアタノト、今度其差別ヲ付ケヌト云フコトヲ以テ、根本的ニ違ッテ居ル致シタイノデアリマス

○一柳委員

尙ホモウ一ツ進ンデ簡單ニ御尋ヲ申上ゲタイ、只今例ヲ御引キ

ト同ジヤウナ租率ヲ以テスルト云ッテガ、北海道ハ御承知ノ如ク天惠ニ薄イガ、北海道ハ御承知ノ如ク天惠ニ薄イ所デアリマス、又貨貸價格ニ於キナリマシテモ、幾分府縣ヨリハ其割合ガ安

イト云フコトハ、今申上ゲタヤウニ天惠ニ乏シイ所デアリマスルカラ、貨貸價格モ隨テ率ガ低イ、其點デ是ハ明治ノ初年カラ數回改正ハアリマシテモ、

今尙ホ府縣トハ田畠ノ如キニ於テハ一分一厘ノ差ガ付イテ居ルノデアリマス、唯茲ニ御改正ニ當リマシテ、急激ニ府縣ト同一ノ率ヲ以テセラレタト云フコトハ、吾々ハ遺憾ニ感ズル次第デアリマス、唯今御答ヲ伺ヒマスト、餘

改正シテ以來二十年ニモナルシ、北海道モ其位ノ負擔ハ差支ナカラウト云フ

先ニ申上ゲタ如ク、今尙ホ其他ノ事ニ付テモ北海道ハ總テノ點ニ特例ガ設ケ御見當デアッタヤウニ承知致シマスガ、

シテ居リマシテハ始マリマセヌガ、兎モ、中々沖繩縣モサウ裕カトハ思ヒマラウト云フ譯デモアリマセヌカラ、セヌケレドモ、サウ云フコトヲ以テ比較砂糖ハ出來マスカ知レマセヌケレドモ、中々沖繩縣モサウ裕カトハ思ヒマラウト云フ譯デモアリマセヌカラ、セヌケレドモ、サウ云フコトヲ以テ比較

北海道ノ開拓ト云フコトニ付テ大ニ考慮シナケレバナラヌ問題デアリマス、

スルトスレバ、内地ト賦率ヲ異ニシテ

居ナイノデアリマス、北海道ニ於テ賦

度、同ジ方法デ課稅評價ヲ調ベテ之ヲ

認メラレテ居ルノデアリマスカラ、今

期ニ申上ゲタノハ、全然例外的

モノガ撤去サレテ居リマシテ、賦率ガ

シマシタ通リニ、既ニ北海道ノ宅地ガ

ドウナッテ居ルカ、宅地ハ此例外ト云フ

ノデアリマス、デアリマスカラ今申

期ト同一ノ課稅ハドウデアラウカト思

ガ、北海道ハ御承知ノ如ク天惠ニ薄イ

所デアリマス、而モ田畠ノ如キハ一毛

ス、尙ホ承リマシタ以外ニ何カ理由ガ

知ノ如ク天惠ニ富ンダ所デアリマスル

ノコトヲ得ルト云フコトニナルノデハ

ガ、北海道ハ御承知ノ如ク天惠ニ薄イ

所デアリマス、而モ田畠ノ如キハ一毛

決定スルト云フノデアリマスカラ、同ジ賦率ヲ以テ行クト云フコトガ當然出テ來ルノデアリマス

尙ホ第二ノ北海道拓殖ノ計畫ニ付テ

御述ニナリマシタガ、北海道ハ第二期
拓殖ノ計畫ガ段々進ンデ居リマス、私
モ能ク承知シテ居リマス、併シ要スル
ニ地租ハ多少是デ假ニ少ナクナラヌト
シタ所デ、ソレハ決シテ北海道ノ損ニ
ナラナイノデアリマシテ、ソレダケノ
收入ガ得ラレ、バソレハ北海道拓殖事
業費ニ充當セラル、コトニナルノデ、
何モ北海道カラ餘計取ツテ來テ内地デ
使フト云フモノデナイト云フコトハ、
能ク御承知ノコトデアラウト思ヒマ
ス、北海道民ニ對シテ酷ナ處置ニハド
ウシテモナラヌト考ヘルノデアリマスカ
ラ、此際地
付キマシテモ皆内地ト同ジヤウニ爲シ
テ居リマスノデアリマスカラ、此際地
租法ノ改正ガ制定セラレタコトニナリ
マシタラ、今マデ認メラレタ原則ヲ茲
ニ當嵌メラレル、北海道ニハ宅地租改
正ノ時分カラ内地ト同ジ賦率ヲ用キル
ト云フ、大體ノ原則ヲ用ヒラレテ居タル
ノデ、之ヲ茲ニ當嵌メタノデアリマス
カラシテ、何等茲ニ餘計ナ取扱シテ居
ルト云フ御考ハナイヤウニ御願シタ
イト思フノデアリマス

ルニ、同ジ東京市内ニ於キマシテモ日本橋ノ如キハ此數字ガ示シテ居リマス通リニ、激増ヲシテ居リマセヌノハ、日本橋ト云フ所ガ明治四十三年ノ當時ト今日ヲ較ベマシテ、大差ナイノデアリマス、ゾレデゴザイマスカラシテ其他ノ土地ニ於キマシテモ、非常ニ激増シテ居リマスノト、サウデナイノトハ、明治四十三年以後ニ於ケル其土地ノ發展進歩ノ狀況ニ依ツテ、斯様ナ數字ヲ呈シテ居ルモノト存ジテ居リマス

ガ當リ前デアリマス、然ルニ地價ハ此
明治四十三年ニ調べマシテ、其當時ノ
賃貸價格ノ十倍ヲ以テ地價トスル原則
デヤツタノデアリマスガ、其後非常ナル
發展ヲ示シテ居リマス土地ハ、賃貸價
格ノ方ガ地價ヨリモ高クナッテ居リマ
スケレドモ、當リ前ナラバ今申上ゲル
ヤウナ關係デアリマスカラ、賃貸價格
ノ方ガ低クテ、地價ニ對シテ一倍ニ達
シナイ、六割、七割、八割ト云フヤウ
ナ數字ヲ示スノガ寧ロ普通ノ狀態デ、
サウデナイ所ハ其間ニ非常ナ進歩發展
ヲシタト、斯ウ云フコトニナルノデア
リマス

割三分四厘、宅地ハ八割九分九厘ト云
フ數字ヲ示シテ居リマス、此鑛泉地、
域ハ池沼山林、或ハ原野、雜種地等ハ
御承知ノヤウニ宅地價修正ノ際ニ何等
ノ修正ヲ致シマセヌデ、明治初年ノモ
ノガ今日マデ其儘持越サレテ居リマス
爲ニ、斯様ナ倍數ヲ示シテ居リマスガ、
總計ニ於テハ即チ賃貸價格ノ方ガ地價
ヨリモ少イノデアリマシテ、總計ニ於
テ八割七分五厘ト云フコトニナッテ居
リマス

○小川政府委員 前田君ノ御尋ハ御尤
デアリマス、政府ハ昭和六年度ニ稅制
調査會ヲ開キマスノデアリマス、ソニ
ニドウ云フ風ナ稅ヲドウ云フ風ニスル
カト云フコトハ、今カラ正確ニ申上ゲ
兼ネマス、其調査ノ結果デ定マルコト
ニナルノデアリマス、隨テ茲ニ問題ニ
ナツテ居リマス地租、營業收益稅、砂糖
消費稅、織物消費稅ノ如キモ、稅制ノ
中デ全體ヲ按排シテ行クト云フコトニ
ナレバ、全然之ヲ除外スルト云フコト
ヲ明言スルコトハ出來兼ネマスガ、併
シ地租ノ如キハモウ是ハ地租自體ト致
シマシテハ、是ダケノ改正ヲスルノデ
——實ハ明治初年ノ地租ノ制度カラ由
シマスト、根本的改正ニナルノデアリマ
スカラ、斯ウ云フモノヲ更ニモウ一
遍、稅制整理調査會デヤリ直スト云フ
コトハ、私等ハ今考ヘテ居リマセヌ、隨
テ此地租法ノ制定ハ確ニ稅制整理ノ一
部ヲ既ニ成シテ居ルモノトキメテモ官
カラウト思ヒマス、但シ稅率デアリマ
ストカ、他ノ稅トノ權衡上多少殖エル
コトガナイトハ、ソレハ今カラ明言出
來マセヌケレドモ、根本ノヤリ方ハ多
分斯ウ云フモノニハ觸レナイト考ヘテ

居リマス
ソレカラ營業收益稅、砂糖消費稅、織物消費稅ハ、御覽ノ通りニ根本ノ改正トマデハ申上ゲ兼ネマス、此處ニ出テ居リマスノハ大體稅率ト云フモノヲ主トシテ見テ居リマス、稅制ノ根本的改正ニナリマスト云フト、ドウ云フコトニナルカハツキリ是ハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、營業收益稅モ既ニ大正十五年ノ稅制整理ニ於テ相當ニ練ツテ居リマス關係カラ、之ニ付キマシテ稅制整理調査會デ、又根本的ニヤリ直ストハ今豫想シテ居リマセヌ、先ヅ此稅制整理調査會ニ於テ先ニドウナルカト云フコトダケハ、此處デ一ツ留保シテ置キタイト思ヒマス、大體今ノ考ヘ方ハサウ云フノデアリマス

ニ付テ兎ヤ角ノ批評ヲナサツテ居ラレルノデアリマス、併ナガラ私共ハ世界ノ平和ヲ確保スル意味ニ於テ、又世界各國ガ國際的ニ要望スル所ノ精神的效果ニ於テモ、相當多大ナルモノガアルノデアリマス、ノミナラズ今日ノ財界不況ノ際ニ、尙且ツ一億三千餘萬圓ノ減稅ヲ爲シ得タト云フコトハ、非常ナル好成績デアルト思ヒマス

ソコデ御尋致シタイノハ、政友會ノ諸君ハ動モスレバ減稅ノ金額ガ少イ、斯ウ云フコトニ付テ論難サレテ居ルヤウデアリマスガ、若シ此海軍倫敦條約ガ不成立ニ終ツタ場合ハドウデアルカ、ウデアリマスガ、又吾々トシテ考ヘテ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、若シ倫敦海軍條約ガ不成立ニ終ツタ場合ハ、無論列強間ニ於テ製艦ノ競爭ガ從前ニ倍シテ激烈ニ相成ルダラウト思ヒマス、其結果ハ各國トモ海軍製艦費ノ負擔ニ堪ヘ兼ネルト云フヤウナコトニナツテ、増稅ヲシナケレバナラヌト云フ破目ニ陷ルト云フコトハ、極メテ自然ノ理デアラウト思フノデアリマス、ソコデ私ハ此場合伺ツテ置

畫ヲ遂行スルトスルナラバ、一體千九百三十一年マデニ主力艦ノ製造、補助艦其他航空機、各艦種ノ製艦費ニ幾ラ程

ハ萬已ムヲ得ナイノデアリマス、ドウタカラ、其事ヲ大藏省ノ方カラ見レバ、

ノ金額ヲ要シタノデアルカ、又其維持費ハ幾ラ程要シタノデアルカ、之ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、併ナガラノデアリマス

ナカラウカト思ヒマスルガ故ニ、若シサウ云フ事情ノ爲ニ公表ガ出來ナイトスレバ、是ハ已ムヲ得マセヌ、強テ御願ヒヲスル譯デハアリマセヌガ、私共ノ推斷ニ依リマスナラバ、彼ノ保留財源デアル五億八百萬圓、是ハ財源ガ無

イカラ、アノ程度デ止メテ居ルノデハ

ナカラウカ、眞ニ條約ガ不成立ニ終ツ

テ、豫定ノ計畫ヲ立テルト云フコトナ

ラバ、保留財源ニモ不足ヲ生ジテ、其

結果ハ大增稅ヲ斷行スルカ、或ハ公債ヲ

増發スルヨリ外ニ途ガナイノデハナカ

ラウカト云フコトヲ案ジテ居ッタノデ

アリマス、デアリマスルガ故ニ、此倫

敦海軍條約ノ效果ヲ討議スル參考資料

ト致シテ、今申シタ如ク倫敦海軍條約

ハ當然要ルコトニナル譯デアリマス、

ハニナレバ、更ニ幾分ノ數字ガ要ルト云

スデ、少クトモ主力艦ヲ造ルト云フコ

トニナレバ、五億八百萬圓ト云フ數字

ハ當然要ルコトニナル譯デアリマス、

ス、ソレカラ從來ハ自作農ダケ免除シ

リマセウカ、御分リニナツテ居ルナラバ、其金高、人員ガドノ位ニナツテ居

未滿ノ自作農ニ免除スルト致シマスナ

ラバ、倫敦條約ガ出來ナイモノトシテ、

アリマスカラ、倫敦條約ガ出來マセ

トニナレバ、倫敦條約ガ出來ナイモノトシテ、

アリマスカラ、倫敦條約ガ出來マセ

トニナレバ、倫敦條約ガ出來ナイ

トカデ、實ハ作リタクテモ作ルコト能
ハザル状況ニナツテ居ルノデアリマス、
殊ニ自作ト小作トノ關係ヲ、此節ノ農
村ノ事情カラ考ヘテ見マスト、殊ニ昨
年度ノ如ク豊作ノ年カラ考ヘテ見マス
ト、非常ニ今マデヨリモ豊作デ、二割モ
收入ガ多イノデアリマスケレドモ、小
作料ハヤハリ今マデノ通り、一段ニ付
テ二俵トカ三俵トカ云フコトニナツテ
居ル、殖エタダケハ小作農ノ收入ニナ
ルト云フコトニナルノデアリマシテ、
而シテ地主トシテハ、今マデノ定額通
リニ二俵カ三俵貰ツテ、安イ米デ生活ヲ
立テルト云フノデ、其状況ヲ申上ゲマ
スレバ、固ヨリ一概ニハ申上ゲラレマ
セヌガ、寧ロ腕ノ丈夫ナ小作人——小
作デ立ツテ居ル人ヨリモ、實ニ家庭ノ不
幸ノ状況デ餘儀ナク、小作ニ掛ケズニ
作リタイケレドモ、人ヲ雇ウテハ引合
ハナイシ、女ヤ子供デ已ムヲ得ヌト云
フノデ、僅ナ小作料ニ依ツテ生活ヲシテ
居ルト云フヤウナ状況モアリマス、之
ヲ社會政策的ニ見マシタナラバ、此方
モ相當考ヘナケレバナラヌト云フ風
ニ、私共ハ思フ點モアルノデアリマス、
此點ニ付テ此改正ニ當リマシテハ、之
ヲ依然トシテ從來ノ通リノ方針ニセラ
レテ居リマスケレドモ、此點ニ付テモ
小農保護ノ見地カラ御攻究ニナリマシ
タコトガアリマスカ、若クハ之ヲヤハ

此賃貸價格二百圓未満ニ付テハ自作農ダケヲ免除シテ、小作ニ付シテ居ルモノヲ免除セザルト云フ理由ハ、財政上ノ理由ガ主デアリマスカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、私ハ政府ノ御所見ヲ御伺シタインデアリマス
ソレカラ其次ニ營業收益稅ノ國稅ノ免稅^黙ト地方稅トノ關係デアリマスガ、是ハ内務省ニモ關係ガアルカモ知ラヌト考ヘルノデアリマスガ、國稅トシテ免ゼラレマシタ分ハ、地方稅トシテ課ケテ居ルノデアリマス、所ガ地方稅ノ方ハ御承知ノ通リ大抵外形課稅標準ニナツテ居リマス、是ガ爲ニ國稅トシテ收益ナシト決定サレタモノニ地方稅ヲ必ズ課ケル、從來課ケテ居ツタ所ガソレハ違法デアルト云フノデ取消サレタ云フ例モアツテ、非常ニ混雜シテ居ルヤウデアリマス、堂々タル店舗ヲ構ヘテ非常ナル大資本デヤツテ居ルノニ收益ガナイト云フノデ無稅ニナル、然ルニ實ニ一荷ノ荷ヲ擔イデ居ルヤウナ細カイ商賣人ガ、縣稅トシテ外形標準デヤハリ納稅スルト云フコトニナリマシテ、其間ノ調和ニ付テ色々な地方トノ關係モアルヤウニ思ヒマスガ、此點ニ付テ政府ノ解釋ト申シマセウカ、御所見ヲ御伺シタインデアリマス
○小川政府委員 自作農ハ二百圓以下ヲ免稅シテ居ルカラシテ、小作ニ付シ

タ小地主ノ二百圓以下モ同ジヤウニ免
稅スルコトニシナイカ、斯ウ云フヤウ
ナ御趣旨デアッタト思ヒマス、小地主
ガ擔稅力ニ乏シイト云フコトハ理窟上
カラハ申スコトガ出來ルデアリマセ
ウ、併シ前ニ中村君ノ質問ニモ答ヘマ
シタヤウニ、所得稅ヲ加減シ、或ハ課ケ
ナイト云フコトハ當然出テ來ルノデア
リマシテ、殊ニ地價二百圓位ノ所デハ
小作ニ付シタ地主モ自作農ト同ジヤウ
ニ——多分所得稅ハ拂ツテ居ナイノダ
ラウト思ヒマスガ、併シ此地租ト云フ
モノハ今申シマシタヤウニ所得稅ヲ補
完スル所ノ稅デアリマシテ、苟モ財產
ヲ持ツテ居レバ無產ノ者ヨリハソコニ
擔稅力ガアルト云フ所デ、所得稅ノ外
ニ尙ホ地租ヲ課ケルト云フ建前ニナッ
テ居ルノデアリマスカラシテ、理窟ノ
上カラ申シマスト、地價二百圓以下ト
云フモノハ左様ナ譯デ免ズルト云フコ
トニハナラナイ譯デアリマスシ、ソレ
カラ又賃貸價格ヲ二百圓ト致シマシテ
モ、ソレ以下ヲ免ズルト云フ風ニハ出
來ナイト思フノデアリマス、唯現行法
ニ於キマシテ自作農地ニ付テ免稅點ヲ
設ケタト云フノハドウ云フ譯デアルカ
ト言ヘバ、是ハ社會政策、農業政策ト云
云フモノノ見地ガ之ニ加ツテ來マス、擔
稅力ノ理法デハナイノデアリマス、地
租法トカ云フサウ云フモノ、理窟デナ

シニ、自作農ヲ創成シ、維持シテ行クト云フコトガ日本ノ國力ヲ固メテ行クト云フ上ニ必要デアルト云フ所カラシテソレヲ稅法ノ中ニ編ミ込ンダノデアリマス、謂ハ、自作農ノ地租免除ト云フモノハ例外デアリマスルカラシテ、今回地租法ヲ改正スルニ當リマシテ、茲ニ小作ニ付セル地主マデハ及ビ得ナカツタノデアリマス、其小作ニ付シタ地主ノ經濟状態カラ言ヘバ洵ニ氣ノ毒ニアルト云フコトハ、ソレハ所得稅ノ方デアリ兼ネル、申上ゲレバ斯様ナ次第デアリマス、其人員トカ、ソレカラ地積トカ云フヤウナコトハ、一寸實ハ調べニクリマス、其人員トカ、ソレカラ地積トカイノデアリマシテ、現ニ今日ノ自作農二百圓以下ヲ免ズルト云フコトニ付キマシテモ、中々は困難デ、課稅技術ノ上デハ町村長ナンカモ實ニ苦ンデ居ルヤウナ譯デアリマス、御承知ノ通リニ地租ハ土地臺帳ニ書イテアルモノヲ引抜イテ來マシテ、誰ガ持タウガ構ハヌト云フコトデ行クヤウナ建前デ出来ルト云フコトハ、是ハ事務上非常ナ困難ノコトデアリマス、サウ云フヤウナテヤ、テ居ルト云フノハ何デアルカト

言ヘバ、是ハ自作農政策ノ上カラ出テ來テ居ルノデアリマス、而シテ今日小作ニ付シテ居ル土地ニ付テ二百圓以下ノモノガドレ位ノ人員デアッテ、ドレ位ノ地積ニ當ツテ居ルカト云フコトハ、チヨット調査ガ出來テ居リマセヌ
營業収益稅ノ事デアリマスガ、國稅ト附加稅ノ御話デアリマス、併シ私ハ一寸御質問ノ要點ヲ擗ミ兼ネタノデアリマスガ、四百圓以上ハ國稅デ収益稅ガ課ケラレ、四百圓以下ニナリマスト國稅ガ課ケラレマセヌカラ、地方ノ營業稅ガ課ケラレル、所デ地方ノ營業稅モ實ハ純益デ取ツテ居ル縣ガ相當アリマス、私ノ極メテ薄弱ナ調査デアリマスガ、十五六縣ハアルダラウト思フノデアリマス、其以外ハ御話ノ通リ外形ノ標準デアリマス、四百圓以下ノモノニナリマスト云フト、直チニ純益ト云フヤウナモノヲ調べ出スト云フコトハ容易デアリマセヌ、ソレデ以前外形ノ標準ガ國稅ニ用ヒラレテ居ッタ、其用ヒラレテ居ツタヤウナヤリ方ガ今日地方ニ残ツテ居ルヤウナ譯デゴザイマスケレドモ、之ヲ急ニサウ云フ風ニ持ツテ行クコト段此收益ヲ見テ行クヤウナ風ニ移ツテ居ルヤウナ譯デゴザイマスケレドモ、之ヲ急ニサウ云フ風ニ持ツテ行クコトモ出來兼ネテ居ツテ、自然外形標準ト云フモノガ用ヒラレテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレニ付テ何

○小川政府委員

○**鎌木委員** 先程私質問シマシタガ、
マダ本論へ行カナイ中ニ打切ニナリマ
シタカラ、茲デ簡単ニ本論ダケヲ御伺
致シマス、政府委員ノ御答辯ヲ伺ヒマ
シタガ、併シ要スルニ都會地ニ於キマ
シテハ、ドウ致シマシテモ實質上此地租
法ノ改正ハ増稅ニナルノデアリマス、
是ガ增稅ニナリマスト云フト、勢ヒ又
地主ハ其負擔ヲ借地人、借家人ト云フ、
所謂無產勤勞階級ニ轉嫁スル結果ニナ
ラウト思フノデアリマス、此勤勞無產
ヤウナコトニナリマスコトハ、是ハ社
會政策ノ見地カラ餘程ノ考慮ヲスベキ
點デアラウト考ヘマスガ、之ニ對スル
政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ、御
伺致シタイト思ヒマス

○**小川政府委員** 只今ノ御話ハ宅地租
ハ皆高クナル、斯ウ云フ風ニオキメニ
ナツテノ御所論デアリマスガ、成程大都
ノ宅地租ト云フモノハ大體高クナルダ
ラウト思ヒマス、表デモ差上ゲテ居
リマスガ、併シ高クナリマスノハ東京、
大阪、愛知デアリマストカ、兵庫デア
リマストカ、京都トカサウ云フ風ナ數
府縣ニ瓦ツテ居ルニ過ギナイノデアリ
マシテ、ソレモ都會地近邊デアリマス、
マス

前

其他ノモノハ皆宅地租全體カラシテ
安クナツテ居リマシテ、總テノ日本ノ宅
地租ガ今度ノ改正ニ依テ増稅ニナル、
斯ウ云フ風ニ結論セラレルノハ聊カ事
實ト違ヒマスカラ、其點ハ一ツ御諒承
ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ大都
市ニ於キマシテ宅地ガ高クナツタ所ガ
アルト致シマシテモ、其宅地ノ高クナ
リマシタ所ニ於キマシテハ、其高クナツ
タダケ借地人又ハ借家人ニ轉嫁スル
コトニナツテ行キハセヌカ、斯ウ云フ
コトデアリマシタガ、ソレハ稅ノ建テ
方ト經濟關係ト云フモノト、兩方面力
ヲ見ナケレバナラヌト思フ、此稅制ノ
建前カラ言ヒマスレバ、御承知ノ通り
ニ地租ハ直接稅中ノ直接稅デアリマシ
テ、轉嫁ヲ豫想シテ居ナイノデアリマ
ス、轉嫁スペキモノデナイト云フコト
デ出來テ居ルノデアリマス、是ガ轉嫁
スルベキモノダト云フヤウナ法律ノ建
前ハ、間接稅ト同ジコトニナルノデア
リマスカラ、サウ云フコトハ何處ノ立
法ニ於テモ許サレスコトデアリマス、
法律ニ於キマシテハ、轉嫁ガナイヤウ
ニスルヤウニ出來テ居ルノデアリマス
カラ、法律ノ制度ノ上カラ、是ガ借家
人、借地人ニ轉嫁スルモノデアル、斯
ウ云フ風ニ限定シテ議論ヲスルト云フ
コトハ宜シクナイト思フノデアリマ
ス、ソレカラ一應法律上ノ建前ハサウ

114

デアッテモ、實際經濟上ノ關係ハドウナ
ルカ、斯ウ云フコトデアリマスレバ、
ソレハ直接稅、間接稅ニ於テモアルコト
デアリマシテ、間接稅ハ轉嫁スルモノ
トシテ居リマシテモ、經濟上ノ關係デ
轉嫁シナイコトモアリ得ルノデアリマ
ス、併シ達觀シテ見タ上ノ議論ハシナ
ケレバナラナイ、箇々別々ノ場合ニ間
接稅ハ轉嫁シナイトカ、直接稅ハ轉嫁
スルト云フヤウナ點ヲ以テ議論ヲ起ス
ト云フコトハ、當ヲ得ナイト考ヘテ居
ルノデアリマス、殊ニ地租ナンカニ於
キマシテモ、經濟上ノ關係ヲ考ヘマシ
テ、斯ウ云フ風ナ不景氣ナ時ニ於キマ
シテハ、轉嫁關係ト云フモノハ割ニ出
來ナイノデアリマス、之ヲ逆ニ申シマ
スルナラバ、地租法ガ豫期シテ居ル通
リニ行クモノダト思フノデアリマス、
例へバ今日ノヤウナ場合ニ稅ヲ高クス
ル、サウシタナラバ借地人ガ之ヲ借り
ルダラウカト云フニ、サウ云フ高イモ
ノハ借りナイト云フコトニナル、借家
ノ方ハ、是ハ家屋稅ノ方ノコトニナリ
マスルガ、家賃ヲ高クスル、斯ウ云フ
場合ニ借りルカト云フト、借りナイト、
或時ハ不景氣ノ象徴トシテ空家ガ出來
ル、新タニ出來タモノヲ借りナイト、借
リル方ノ人間ガ、高ケレバ借りナイト
フモノハ行ハレナイノデアリマス、ア

ナタノ假リノ例ト致シマシテ、茲ニ宅地租ガ多少高クナルカラシテ、ソレガ直グ今度ハ家賃ガ高クナルノデハナイカト云フコトハ、今日ノ經濟狀態カラ見マスルト、私ハサウデナイト思フ、之ヲ立法ノ建前カラ申シマシテモ、之ヲ今日ノ經濟上ノ實情カラ見マシテモ、借地人、借家人ニ轉嫁スルト云フコトハナイ、斯ウ考ヘテ宜カラウト思フノデアリマス

○**鎌木委員** 只今ノ御答デ大體了承致シマシタガ、唯宅地租ノ問題デナクテ、實際上不景氣ノ際ニ、成程家賃ナリ地代デ高クナリハシマスマイケレドモ、下ゲヨウト云フノヲ下ゲナイト云フコトハアラウト思ヒマス、併ナガラ私ハ大體ニ於テ此程度ノ質問デ打切リマス

○**青木政府委員** 先程御答致シマシタ事ニ付テチヨット補足致シマス、先程ノ御質問ハ名古屋ハ非常ニ高クテ、京都ヤ神戸ノ高クナイノハ、ドウ云フ譯カト云フ御話デ、私ハ先程四十三年ノ宅地價修正後ニ、變化ガ名古屋程急激デナイト云フ事ヲ申シマシタガ、ソレニ附加ヘテ申シマスレバ、ソレハ京都ト神戸ニ付キマシテハ、現在ノ地價ノ一番高イ所ト、今度新ニ調ベマシタ賃貸價格ノ一番高イ所ガ違ッテ居リマス、此表ハ賃貸價格ノ一番高イ所ニ付テ、其土地ノ地價トノ割合ヲ出シタ爲ニ、斯

ウ云フ大キナ割合ニナツテ居リマスガ、此地價ノ高イ所ト賃貸價格ノ一番高イ所ハ違フト云フ、サウ云フ數字ヲ示シテ居リマス

○**本田委員長** 本日ハ是ニテ散會致シマシテ、明日午前十時三十分ヨリ開會致シマス、大ハ此會ガ靜肅ニ終リマシテ、洵ニ感謝致シマス

午後三時三十四分散會

昭和六年二月六日印刷

昭和六年二月七日發行

衆議院事務局

印刷者

當譽印刷株式會社